

利根川河口堰における津波の対応について

2月27日15時34分頃にチリ中部沿岸で発生した地震(マグニチュード8.8)について、気象庁は2月28日9時33分、茨城県・千葉県九十九里に津波警報を発令しました。関東地方への津波到達予想時刻は13時30分と発表されました。

利根川河口堰管理所では28日10時に第一警戒態勢に入り、津波に備えると共に黒部川下流側の閘門を手動で全閉したほか、管理施設の点検等を行いました。以下に津波が観測されてからの状況を報告します。

第1波

14時37分、河口の銚子漁港で波高40cmの津波が観測されました。

15時27分、河口で観測されてから50分後、利根川河口堰に津波が到達したのを確認しました。

15時30分、利根川河口堰直下流の18km地点での水位はY.P.1.82mでした。

16時04分、第1波が収束するのを確認しました。

第2波

16時49分、河口の銚子漁港で波高60cmの津波が観測されました。

17時40分、利根川河口堰直下流の18km地点での水位はY.P.1.60mでした。

18時50分、河口堰上下流の水位差がつき、ゲートを開けました。

(この時の堰下流水位Y.P.1.09m、上流水位Y.P.1.37m)

その後各施設の点検を行い、安全が確保されたのを確認し、23時40分防災態勢を解除しました。

今回の津波では、各管理施設への被害もありませんでした。

私たちは、限られた貴重な資源である水を安定的に供給し、流域を塩害から守るために、

「地域を守る潮止堰 利根川河口堰」として、これからも皆様に信頼される仕事を行っていきます。

